

Tomo Ohka



大家友和プロフィール

2004年

Athletes Dream Management, Inc.

大家友和プロフィール

氏名 : 大家 友和 (おおか ともかず)

生年月日 : 1976年3月18日

身長 : 183cm

体重 : 90kg

趣味 : 釣り / パソコン

出身校 : 京都成章高校

球歴 : 梅津北ジュニア 梅津中学 京都成章高校 横浜ベイスターズ ポストンレッドソックス モントリオールエクスポズ(現)

主な記録 : わずか3球の投球で高卒新人としては史上2人目の4月初勝利

マイナーリーグでは15勝無敗

3Aポータケットレッドソックスにて48年ぶり史上3人目の完全試合を達成

公式HP : <http://www.tomokazuohka.com/>



大家友和のこれまでの歩み

高い目標設定と、不断の努力によって、メジャーリーガーとしてのポジションを獲得

- 1976 3月18日に小川産婦人科病院にて生まれる。2450gの小さな赤ちゃんだった。
- 1979 蜂が岡保育園から、梅津小学校へ。病気がちな子供だった。
- 1985 地元の少年野球チーム、梅津北ジュニアに入団。捕手から外野手、そして外野手から投手へ。
- 1989 梅津中学入学。当然、野球部へ。将来、野球で生計が立てられないかと真剣に考え始める。
- 1992 京都成章高校へ進学、2年秋公式戦初登板。
- 1993 3年春、府大会に背番号10で登場。強豪校を倒し、一躍注目され始める。念願の背番号1を手にした最後の夏、京都大会で決勝に進出。甲子園出場は夢に終わるが、ドラフト候補を確実に。同年12月、横浜ベイスターズからドラフト3位指名される。
- 1994 二軍スタートも、4月には一軍昇格。2戦目で、近鉄バファローズの太田幸司以来、という高卒新人の4月初勝利を挙げる。
- 1995 主に中継ぎで一軍登板。
- 1996 怪我で出遅れ、シーズン終盤で挽回するも、スランプの前兆が出始める。
- 1997 プロ生活最悪のシーズン。大スランプに陥り、一軍登板なしに終わる。秋、教育リーグに参加のため、フロリダへ。
- 1998 日米間の野球協定が整わず、レッドソックスへの移籍話は立ち消え、横浜残留。一軍登板は二試合も、イースタンリーグ防御率1位に。同年春、レッドソックスへの正式移籍(マイナー契約)決まる。
- 1999 メジャーより2つも下のマイナーリーグ、ダブルAクラスでのスタートながら、トリプルA昇格後を含む11連勝により、7月、史上九人目の日本人メジャーリーガーとなる。通算にして2度の降格と3度の昇格を経験し、マイナーでは結局、無傷の15連勝。シーズン終了時にはメジャー残留。初勝利も挙げている。
- 2000 レッドソックス傘下の3Aポータケットにてシャーロット(ホホワイトソックス傘下)戦で完全試合を達成。117年の歴史を持つ3Aインターナショナルリーグでは48年ぶり史上3人目の快挙。しかも打者27人をわずか77球で抑える快投とあって、全米ネット局が一斉にスポーツのトップニュースとしてこの模様を伝える。
- 2003 02シーズンの13勝に続いて、03シーズン10勝目を挙げ、二年連続、二桁勝利を達成するとともに、この勝利でメジャー5年目で通算30勝を挙げる。
- 2004 エクスポズエースとして3勝を上げ波に乗りかけるも、6月10日ロイヤルズ戦で右手首付近に打球を受け、右手橈(とう)骨骨折



大家友和のストーリー性

大家友和には、たくさんのストーリーがあります

“母子家庭で生活保護を受けながら育つ。家計はお母さん、お兄さんが支えていた”

“ドカベンに影響を受けて野球を始める。はじめは捕手だったが捕球の際にボールが怖くてに目をつぶっていた”

“中学時代から「将来野球で生計が立てられないか」と本気で考え、そのための行動を起こし始めた”

“高校入学では、生計を支えるお兄さんと「プロ野球の入団テストを受ける」ことを約束し私立の京都成章高校へ進学した”

“甲子園には出場できなかったが、横浜ベイスターズにドラフト3位指名される”

“わずか3球の投球でプロ初勝利を上げるも、その後は勝ち星に恵まれず”

“自ら渡米を志願、マイナーからのたたき上げ生活を開始。夜中にドライブスルーに立って並んで食事を買って生活を繋いだ”

“本場の野球を直接肌で学びながら野球人としての成長を遂げ、マイナー時代は無傷の15連勝”

“117年の歴史を持つ3Aインターナショナル・リーグでは47年ぶり史上3人目の快拳となる完全試合を達成”

“2年連続二桁勝利”

⋮



大家友和の魅力

メジャーリーガーの枠を超えた、一人の人間としての大家友和が一番の魅力



大家友和チャリティーツアーの主催

- 2001年より毎年開催し、毎年10名前後をアメリカに招待
- 大家本人から子供たちに、「生きる力強さ」と、人生を切り開く「独立心」と、自分を信じ夢に向かって挑戦する「強い信念」を、伝えることが目的



大家友和ベースボールクラブの運営

- 2004年より滋賀県草津市を拠点に少年野球チームを結成
- 正しい野球を広めることを目的として、大家本人がGMとなってチームを直接指導
- 滋賀を一大スポーツタウンにする構想の第一弾(滋賀スポーツタウン構想)



大家友和野球教室での講師

- オフシーズンに全国各地で実施
- 大家のキャリアの中で蓄積した知識や経験を、子供たちや社会へ直接伝えることを目的に開催



立命館大学の学生

- 2003年度の社会人入試にて経営学部経営学科に合格
- オフシーズンには実際に校舎に通いながらスポーツマネジメントを学ぶ

手術を終え1ヶ月が経ちました。
今は退院してリハビリと復帰に向けてのトレーニング中です。
毎日朝からトレーニング、午後は腕のリハビリです。

腕は回復しています。毎日回復をしていることを感じています。
ただ、回復が早いか遅いかは僕にはわかりません。
淡々と日は過ぎていきますが焦りもなく落ち着いて過ごせています。

復帰に向けての意欲も変わることはありません。
復帰をした時のことをイメージしながらがんばります。

これはこれで僕には暑い夏です。



おおか